報道関係者各位

2024年10月4日
株式会社フジクラ

Fujikura

PressRelease

長谷川博己さん、出口夏希さんが参加者に向け“フジクラ社員”として巨大名刺を使って自己紹介！「つなげ、新しい世界線。フジクラ新CM発表会」レポート

～10月4日に23歳の誕生日を迎える出口さんへのサプライズも！～

株式会社フジクラ（本社：東京都江東区、取締役社長CEO：岡田直樹、以下「フジクラ」）は、俳優の長谷川博己さんと出口夏希さんを起用した創業以来初の全国テレビCMを2024年10月3日（木）より放送を開始するにあたり、前日の10月2日（水）にCM発表会を実施しました。

本イベントでは、最初に取締役社長CEOである岡田直樹が挨拶を行い、その後CM3本を初披露しました。中盤では、ゲストとしてCMに出演している俳優の長谷川博己さん、出口夏希さんが登場し、トークセッションを実施。撮影時のエピソードを交えてお話いただくほか、2日後に誕生日を迎える出口夏希さんへのサプライズも行いました。

■今回の会場とフジクラの関係性や今後の展望について説明

株式会社フジクラ 取締役社長CEO 岡田直樹の挨拶では、『フジクラは、東京都江東区木場に本社があります。創業は1885年2月ですので、来年の2月で創業140周年を迎えます。今日の会見場は渋谷区千駄ヶ谷ですが、実はフジクラが創業して間もない頃、千駄ヶ谷に工場がありました。かつての社名である「藤倉電線」千駄ヶ谷工場発祥の地という石碑が今でもこの近くにあります。このような場所で記者会見をできることを大変喜ばしく思っております。』と、フジクラの歴史とともに、会場とフジクラの関係性についても説明。また、創業以来DNAとして受け継いできた「技術のフジクラ」や「進取の精神」や、今回のCM放送に至った経緯のほか、『今後は若い世代を含めた幅広い全世代に知っていただきたい。』と、グローバル企業としての今後の展望についても説明しました。

■長谷川博己さん、出口夏希さんが巨大名刺を使って登場！参加者全員に向けた自己紹介も

新CM3本の初披露後、ゲストとして長谷川博己さん、出口夏希さんが巨大名刺を持って登壇。『株式会社フジクラの長谷川博己と申します。どうぞよろしくお願いいたします。』『株式会社フジクラの出口と申します。どうぞよろしくお願いいたします。』と、“フジクラ社員”として初となる、名刺交換を思わせるような自己紹介を行いました。

撮影時の現場の雰囲気について聞かれた長谷川さんは、『出口さんがとても話しやすく、色々お話しているうちに気づいたら撮影が終了してました。とても楽しい撮影でした！』とお話し。出口さんも、『長谷川さん本当に優しいんですよ！最初のCM撮影の時にたくさん声をかけていただいて…実はちょっと緊張していたんですけど、長谷川さんのおかげで緊張が解けました。』とコメント。お互いを褒め合いながら、終始ほっこりした雰囲気で撮影が行われた様子を楽しそうに振り返っていました。

■発音練習の賜物！長谷川さんが新CM内で発する英単語についてお話

続いて、撮影で大変だったことについて聞かれたお二人。『やはり英語の発言がなかなか難しかったです。』と長谷川さん。新CM内で印象的な「Amazing」や、フジクラを象徴する製品「SWR（スパイダー ウェブ リボン）」の発音について苦労されたとのこと。とくに「SWR」はすごく練習したようで、『“R”の発音は日本人には難しいので、すごく練習しました。』と振り返りました。『画コンテに「ネイティブで！」と書いてあり、ほかのカタカナ英語の部分もネイティブにしなくてはいけないのかと思ったのですが、（監督に）「そこはネイティブ風に言わなくていいです！」と言われてしまったようで、CM撮影の現場でも役者魂が垣間見えるような一面も見せてくれました。

一方で出口さんは、『セリフもそうなのですが、メニューをパッと閉じる所を一番リテイクしました。ちょとコツがあって…いい所で閉じられるとといい音がして、風がふわっと来るんです！』と当時を振り返り。お二人が役者として真摯に撮影に向き合って切る様子が伝わるトークを披露しました。

■パネルトークで発覚！長谷川さんと出口さんに共通している「果敢に挑戦すること」

終盤に行われたフリップを使ってのトークでは、フジクラの“進取の精神”にちなみ「今までで一番果敢に挑戦したことは？」とのお題が。長谷川さんは「毎回役を演じること」、出口さんは「お芝居」と、まさかの回答が一致しました。『毎回、役には一番果敢に挑戦していかなくてはと思っています。俳優になって23年くらいですが、結構挑戦しがいのある役をいただくことが多いです。結果、自分から挑戦していく役を見つけていくという感じです。』とこれまで俳優として活躍してきた長谷川さんならではの回答に。出口さんは『挑戦することが苦手で、何かを最後までやり遂げたことがなかったのですが、この仕事を始めて挑戦することに出会えました！続いている自分にびっくりしています。』とお話し。映画やドラマ、モデルなどの幅広いジャンルで果敢に挑戦されるお二人が、今後さらに飛躍していく姿に、これからも目が離せません。

■イベント2日後に23歳の誕生日を迎える出口夏希さんに壇上でサプライズ！

イベント終了間際にはイベント2日後の10月4日（金）に23歳の誕生日を迎える出口さん。今回、本人に内緒でステージ上でのサプライズを実施！ステージ転換で突然バースデーソングが流れ、岡田社長からは出口さんの写真がプリントされた特大ケーキが、長谷川さんからは花束が贈られました。本人には全く知らされていないサプライズだったため、終始驚きの表情の出口さんは『二段のケーキをいただいたのは初めてです！「台本にこの曲はなかったな～」と思っていたらまさかの…とても嬉しいです！』と笑顔でコメント。23歳の抱負を聞かれ、『「初心忘るべからず」です。23歳も自分らしく過ごしていきたいと思います！』と元気いっぱいにお話ししました。

■CM概要

出演　：長谷川博己、出口夏希
放送開始日　：2024年10月3日（木）
放映地域　：全国（一部エリアを除く）
YouTube　：「つなげ、新しい世界線。～新人登場 篇～」
URL https://youtu.be/9TQzyoSDB8A （30秒）
「つなげ、新しい世界線。～インターネットの進化の裏に 篇～」
URL https://youtu.be/CnkIkd_JuOI （30秒）
URL https://youtu.be/hqCo5q8wI8E （15秒）
「つなげ、新しい世界線。～AIの進化の中に 篇～」
URL https://youtu.be/XSr4uNpxZG8 （30秒）
URL https://youtu.be/glaV4p9CaiI （15秒）

■「つなげ、新しい世界線。フジクラ新CM発表会」概要

日　時　：2024年10月2日（水）16時00分～17時00分
場　所　：LUMINE 0（東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目24番55号　NEWoMan Shinjuku 5F）
登壇者：株式会社フジクラ 取締役社長CEO 岡田直樹
ゲ ス ト：長谷川博己さん
出口夏希さん

■出演者プロフィール

長谷川博己（はせがわ・ひろき）さん
東京都出身。
2002 年舞台「BENT」でデビューし舞台を中心に活動。その後、映像作品へもフィールドを広げ、2011年にはドラマ『鈴木先生』にて初の主演を務めた。他、主な作品にドラマ『小さな巨人』(17)、連続テレビ小説『まんぷく』(18)、映画 『リボルバー・リリー』(23) など。
映画『シン・ゴジラ』(16)では、日本アカデミー 賞・優秀主演男優賞を受賞。
NHK ドラマ『夏目漱石の妻』(16)で放送文化基 金賞演技賞を受賞。
NHK 大河ドラマ『麒麟がくる』(20)では主人公の明智光秀 を演じ、橋田賞および日刊スポーツ・ドラマグランプリ主演男優賞を受賞。
また、本年 4 月期TBS 日曜劇場『アンチヒーロー』では同枠 7 年ぶりに主演・明墨正樹役を務め、その独特なキャラクターメイクが高い注目を集めた。

出口夏希（でぐち・なつき）さん
2001年10月4日生まれ。
「ミスセブンティーン2018」に選出され、「Seventeen」専属モデルとしてデビュー。現在は「non-no」専属モデルとして活動中。2019年にドラマ「ココア」ではドラマ初出演にして初主演を務める。近年の出演作に、ドラマ「アオハライド」（主演）、「ブルーモーメント」、Netflix映画「余命一年の僕が余命半年の君と出会った話。」、劇場映画「赤羽骨子のボディーガード」に出演している。

■株式会社フジクラ会社概要

1885年創業の事業会社。国内外に100を超えるグループ企業を有し、光ファイバケーブルを中心にした情報通信事業、電子部品を中心としたエレクトロニクス事業、電線などのエネルギー事業、ワイヤハーネスなどの自動車事業など、5つの事業分野でグローバル展開しています。
フジクラの歴史は、創業者の藤倉善八が東京・神田淡路町にて、絹・綿巻電線の製造を開始し、幕を開けました。その後1945年（昭和20年）に戦災で主力工場が全焼する苦難の中、戦後復興のためのインフラ需要や、インターネットの発展に伴う需要を捉えて事業を拡大し、来年、2025年で創業140周年を迎えます。

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞
フジクラ広報事務局(KMCgroup株式会社内)担当:公文、湯原、関口
TEL:03-6261-7413（事務局直通：070-3192-1851）FAX:03-6701-7543E-MAIL:info@kmcpr.co.jp